ニッポン美人化計画

Text: Ryoko Kobayashi

MAKE-UP: UDA (S-14)

MISSION
73
2016.6

PHOTO: shu ASHIZAWA (S-14)
STYLING: Chie Ninomiya
HAIR: KANADA (LAKE TAJO)

スパンコールをメイクパーツとして取り入れた個性派メイク！「美人て何？」っていう疑問も解決します！

クラッシュニット ¥9,200(メランジェ)
／インナー、リング＊スタイリスト私物

今月のミューズが生まれるまで

個性的なヘアメイクで、街で異彩を放っていたアリサタンジェルさん。

「ペールトーンなのに鋭い雰囲気が目に留まりました。明るい髪色と白のアイメイクは、光と闇、両極端のエッセンスを表現したいんだよね、きっと」と、分析したUDAさん。

「そこで今回は彼女自身が研究してつくっているヘアメイクを生かす方向に。ブラウンのアイシャドウで“闇”を強調。“光”である白のアイライン&マスカラは本人に描いてもらい、アクセントとしてスパンコールを眉間につけるというアレンジを施した。

その出来上がりに、アリサタンジェルさんから「これって美人？」と、質問。

「それぞれがもっている美意識が、見た目にも伝わってくる人が、僕の考える美人の形のひとつ。だからメイクでは、その美意識を探って、くっきりさせるようにしています。そうすると、気持ちにフィットする美人メイクが完成する気がします」（UDAさん）

アリサタンジェルさん
〈M.Y.O.B NYC〉PR
2016. 4. 10　at Harajuku
Photo: UDA

ベースは、CCクリームとコンシーラーで、軽い質感に整える。アイブロウは、スクリューブラシにコンシーラーを取って毛色をいったん消し、ライトな印象のピンクベージュに。アイメイクは、ブラウンのアイシャドウ(3の左下)をアイホールの上下に入れ、二重幅をはみ出す位置に(3の右上)を塗って深みを足す。白のアイライン(2)とマスカラ(1)は彼女自身にベースを描いてもらった。アイラインは、目尻を大胆に長くとり、マスカラは睫毛の黒さが残らないように、まんべんなく塗る。眉間のパーツは、アンティーク布や民族衣装のパーツなどから吟味し、ブルーのスパンコールに決定。つけ睫毛ののりを使って貼る。唇は、シアーな光沢ベージュ(4)。質感を足すように指先でポンポンと塗る。

4　3　2　1

UDA

メイクアップアーティスト。雑誌・広告のファッション&ビューティ、女優やアーティストを担当するほか、舞台のメイクプランニングも手がける。本企画ではモデルハントからディレクションまで全体を統括。緻密な理論に基づく技は日々進化中。

1: 白い色がくっきり発色。スターゲイザー マスカラ #6 ¥1,500(アレスショップ)
2: にじまず硬せない、マットな質感。アクアエクセル #M-16 ¥2,600(メイクアップフォーエバー)
3: アースカラーと潤れたような質感の4色をセット。色に合わせテクスチャーがすべて異なる。4Dプラスアイパレット #06 ¥6,200(THREE)
4: ティントタイプのリップケア。ティンテッド リップ バーム #04 ¥2,500(レ・メルヴェイユーズ ラデュレ)

美人化モデル募集中 『ニッポン美人化計画』では、街でのハントに加え、ページに登場してくれるモデルさんの募集を本格スタートしました！ 自薦・他薦は問いません。UDAさんのメイクアップで、新しい自分を発見してみませんか？ 受け付けはFacebookから。https://ja-jp.facebook.com/mhginza